明海大学浦安キャンパス教育後援会会報

明海大学
MEIKAI UNIVERSITY

潮風

平成16年7月20日発行（年2回刊）
〈教育後援会だより〉
しおかぜ
発行／明海大学浦安キャンパス教育後援会
〒279-8550　千葉県浦安市明海8
電話　047-355-5112　FAX　047-355-2871
http://www.meikai-koenkai.com/

2004年度評議員会開催

事業内容のいっそうの充実を目指す

今年度の事業計画と予算案を審議

5月29日(土)、浦安キャンパス第2管理・研究棟3階大会議室で2004年度教育後援会評議員会が開かれた。髙倉翔学長をはじめとする教職員ら臨席の下、昨年度の事業報告や決算報告、そして新年度の事業計画や予算などについて審議を行った。

2003年度の事業と決算が事務局より報告された。

昨年度は地区父母懇談会を従来の4回から6回に増やし、新しく盛岡を開催地に加え、さらに浦安キャンパスで3年生を対象とした就職に関する懇談会を開催した。また、教育後援会だより「潮風」を2ページ増やしてオールカラーにしたり、教育後援会のホームページを立ち上げるなど、会員向けの情報発信に力を入れてきた。また、新規に学生の表彰制度を設け、初年度は24名を表彰している。

このほか、学部学生、留学生への奨学金や、長期留学生や短期海外研修への援助、学内企業セミナー、診断テスト実施、キャリアハンドブック製作など就職対策への援助、新入生少人数教育援助、ピアサポートセミナーへの援助など少人数教育、特別教育、学部研究費への援助、野外卓購入、学食メニュー棚の購入など学校施設の設備や学生食堂への援助など27の事業を実施している。

決算が承認されたところで、今年新たに加わった評議員15名の紹介と、横濱孝雄新会長ほか今年度の役職幹事候補者が発表され、満場一致で承認された。

（2面へ続く）

新事業に着手、充実した1年

―2003年度を総括―

審議にさきがけて、まず、大塚博行会長が「昨年度は新しい事業に着手でき、充実した一年だった」とあいさつ。続いて大学側を代表して髙倉翔学長が「もはや大学は真理の追究のみでなく、学生にどれだけ付加価値をつけて世に送り出せるかで、社会的な価値が決まる」として、「本学は徹底した実学指向で厳しい時代を乗り切っていきたい」と、大学経営の姿勢を示し、教育後援会へは、変わらぬ理解と支援を訴えた。

その後、大塚会長が議長に選出され、議事に移った。

まず大学側から、今年度の学年暦、入試結果、在学生数、学生支援、就職状況など大学の近況報告があり、

2004年度明海大学浦安キャンパス教育後援会事業計画

Ⅰ．教育後援会主体事業
- A-1　地区父母懇談会開催（6地区）1地区増設検討
- A-2　教育後援会だより広報紙「潮風」の発刊
- A-3　教育後援会奨学金制度
- A-4　学生の住宅相談・紹介、地区宅建協会との情報連携
- A-5　卒業記念品の贈呈
- A-6　卒業アルバムの贈呈
- A-7　国内外大学施設等視察
- A-8　長・短期留学派遣制度
- A-9　教育後援会HPの充実
- A-10　学生の慶弔に関すること
- A-11　教育後援会学生表彰の実施
- A-12　教育後援会創立20周年記念事業計画

Ⅱ．学生の主体的諸活動（団体）への援助
- B-1　部・サークル等課外活動団体（学友会）への援助
- B-2　学園祭への援助
- B-3　学友会サマーキャンプへの援助・協力
- B-4　課外活動特別強化への援助
- B-5　新入生歓迎会への援助
- B-6　留学生連合会主催行事への援助
- B-7　課外活動団体等への大会出場への援助
- B-8　契約施設利用者への援助
- B-9　卒業パーティー実施への援助
- B-10　卒業アルバム制作への援助

Ⅲ．大学実施事業援助
- C-1　長短期学生交流海外派遣への援助
- C-2　大学広報誌「MEIKAI」の増刷・送付の援助
- C-3　大学就職対策セミナー等への援助
- C-4　学校施設設備等への援助
- C-5　学生食堂運営等への援助
- C-6　少人数教育・学部研究費への援助
- C-7　学友会及び、部・サークル活動の顧問教職員への援助
- C-8　課外教育活動団体指導者等への援助
- C-9　ピアサポートセミナーへの援助

会長あいさつ

会長就任にあたって

教育後援会会長　横濱孝雄

この度、2004年度明海大学浦安キャンパス教育後援会評議員会の承認により、会長を仰せつかりました横濱孝雄です。

会長という大任を仰せつかり、その責任の重さを痛感しております。

評議員会で承認されました事業計画に沿い、皆様のご意見、ご協力をいただきながら、しっかりと確実に運営していきたいと考えております。

教育後援会は、発足以来本年で17年目になります。諸先輩方の幾多のご努力により活動内容に検討が加えられ、大学とご父母の間を繋ぐ極めて有意義かつ重要な役割を担ってきております。

しかしながら、環境が大きく変わる中、いろいろと今後に向けた改革等も検討しなければいけないと考えております。

1年間にできることは限られておりますが、今の財産をしっかりと受け継ぎ、それに、今の時代にあった何かを加え、次に伝えてゆきたいと考えています。

会員の皆様にはこれからも更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年度の重点として

本年度も事業の三本柱であります①教育後援会の主体的事業②学生の主体的諸活動への援助③大学実施事業への援助の充実を基本に推進していきます。

第一の柱では、なんと言いましても各地区の父母懇談会の充実です。父母にとっても大学での我が子の様子を大学の先生方との懇談の中から理解や信頼を深めることができます。また、留学、就職、学生相談、教務相談コーナー等を設けております。

第二の柱では、学友会、課外活動、留学生連合会等への協力、援助を図ることです。

第三の柱では、海外派遣事業、進路・就職対策、少人数教育、諸団体指導者等への援助を推進しております。

個々の事業内容を充実
―2004年度の事業計画―

新体制が決まったところで、大塚前会長から横濱新会長に議長をバトンタッチして、議事を再開。引き続き2004年度の事業計画案と予算案が発表された。

一般会計については、前年度順調に事業が展開できたため、例年よりも繰越金が少なく、予算規模が減少。特別会計から繰入金を入れているが、全体的に予算カットの傾向だ。しかし、「事業の質は落とさずに、さらに内容の充実をはかれるように検討した」と事務局。これまでどおり、①教育後援会主体事業、②学生の自主活動への援助、③大学実施事業援助の3つの柱に基づいて事業が組み立てられている。

具体的には、教育後援会だよりの発行、地区父母懇談会開催などの組織対策費のほか、学園祭の援助、学食の補助など全学行事援助費、部活動の協力費、教育・研究補助、卒業アルバム制作費援助、就職対策への補助、長期・短期留学を補助する学生交流援助金、奨学金事業繰出金など学生関係活動対策費。診断テスト、キャリアハンドブック、学内企業セミナーの補助など就職対策費が予定されている。また、3年後の創立20周年の記念事業に向け、その計画作りもスタートさせる予定。

予算を見ると、収入は会費と繰入金などで合計1億3381万円が見込まれる。支出は組織対策費として2252万円、学生関係活動対策費が9624万円。合計で1億1876万円の事業費を計上。会議費、管理費などを併せて1億3381万円の予算案が、事業計画とともに満場一致で承認されている。

役員、幹事お疲れさまでした

大塚前会長が名誉会員に

審議の最後に、1年間にわたって会長を務めた大塚博行さんが、教育後援会の名誉会員に推薦され、満場一致で承認された。

大塚さんから横濱さんへバトンタッチ

新役員の顔ぶれ
〈2004年度幹事〉

会長	横濱　孝雄
副会長	奥山　藤雄
副会長	鈴木　陽夫
副会長	篠原　康光
会計	伊藤　恵子
監事	岡崎　正朗
監事	加藤　真知子
幹事	佐々木　守
	醍醐　紀美子
	宇田川　芳子
	横山　容子
	宮内　章雄
	服部　重明
	阿部　美佐子
	高崎　真理子
	佐藤　健三
	谷　昭夫
	坪田　由人
	綿屋　美知世
	和泉　全子
新評議員	高木　優子
	中村　正明
	斉藤　順一
	鈴木　典子
	綿屋　美知世
	和泉　全子
	谷　昭夫
	佐藤　健三
	坪田　由人
	伊藤　博彦
	高坂　恵子
	山下　妙子
	長谷川　節夫
	村瀬　美治
	加納　清仁

（敬称略）

2003年度　明海大学浦安キャンパス教育後援会一般会計決算書　（自）2003.4.1 （至）2004.3.31

収入の部

科目	本年度予算額	本年度決算額	差額
会費	120,136,000	118,826,000	1,310,000
雑収入	4,075	509	3,566
繰越金	22,984,925	22,984,925	0
合計	143,125,000	141,811,434	1,313,566

支出の部

科目			本年度予算額	本年度決算額	差額
事業費	組織対策費	会員組織費	1,200,000	619,500	580,500
		国内外大学調査研究費	1,000,000	771,654	228,346
		組織強化費	8,500,000	8,149,373	350,627
		広報費	12,100,000	11,494,555	605,445
		小計	22,800,000	21,035,082	1,764,918
	学生関係活動対策費	全学行事援助費	33,010,000	36,482,883	▲3,472,883
		部活動等協力費	12,500,000	10,971,590	1,528,410
		教育・研究補助	5,630,000	2,717,467	2,912,533
		卒業記念品費	18,000,000	17,965,500	34,500
		卒業アルバム制作費補助	13,000,000	13,599,240	▲599,240
		就職対策費	9,200,000	9,189,750	10,250
		学生交流援助金	10,000,000	10,000,000	0
		施設設備支援	1,500,000	1,493,100	6,900
		奨学金事業繰出金	1,000,000	1,000,000	0
		小計	103,840,000	103,419,530	420,470
	事業費計		126,640,000	124,454,612	2,185,388
会議費		評議員会議	1,400,000	1,166,601	233,399
		幹事会・常任幹事会	2,000,000	2,673,344	▲673,344
	会議費計		3,400,000	3,839,945	▲439,945
管理費	一般管理費	通信費	200,000	27,420	172,580
		慶弔費	500,000	224,566	275,434
		旅費交通費	100,000	42,510	57,490
		印写事務費	700,000	351,762	348,238
		業務委託費	9,000,000	8,034,708	965,292
		渉外費	600,000	440,602	159,398
		消耗品費	500,000	146,203	353,797
		雑費	0	0	0
		事務費	685,000	627,900	57,100
		小計	12,285,000	9,895,671	2,389,329
	備品費	什器備品費	300,000	262,080	37,920
		小計	300,000	262,080	37,920
	管理費計		12,585,000	10,157,751	2,427,249
基本積立基金繰出			0	0	0
予備費			500,000	88,725	411,275
次年度繰越金				3,270,401	▲3,270,401
合計			143,125,000	141,811,434	1,313,566

2004年度　明海大学浦安キャンパス教育後援会一般会計予算書　（自）2004.4.1 （至）2005.331

収入の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	差額
会費	118,540,000	120,136,000	▲1,596,600
雑収入	599	4,075	▲3,476
繰越金	3,270,401	22,984,925	▲19,714,524
繰入金	12,000,000	0	12,000,000
合計	133,811,000	143,125,000	▲9,314,000

支出の部

科目			本年度予算額	前年度予算額	差額
事業費	組織対策費	会員組織費	1,000,000	1,200,000	▲200,000
		国内外大学調査研究費	2,000,000	1,000,000	1,000,000
		組織強化費	8,000,000	8,500,000	▲500,000
		広報費	11,520,000	12,100,000	▲580,000
		小計	22,520,000	22,800,000	▲280,000
	学生関係活動対策費	全学行事援助費	32,710,000	33,010,000	▲300,000
		部活動等協力費	10,100,000	12,500,000	▲2,400,000
		教育・研究補助	5,230,000	5,630,000	▲400,000
		卒業記念品費	17,500,000	18,000,000	▲500,000
		卒業アルバム制作費補助	11,000,000	13,000,000	▲2,000,000
		就職対策費	9,200,000	9,200,000	0
		学生交流援助金	10,000,000	10,000,000	0
		施設設備支援	500,000	1,500,000	▲1,000,000
		奨学金事業繰出金	0	1,000,000	▲1,000,000
	小計		96,240,000	103,840,000	▲7,600,000
	事業費計		118,760,000	126,640,000	▲7,880,000
会議費		評議員会議	1,300,000	1,400,000	▲100,000
		幹事会・常任幹事会	2,000,000	2,000,000	0
	会議費計		3,300,000	3,400,000	▲100,000
管理費	一般管理費	通信費	100,000	200,000	▲100,000
		慶弔費	500,000	500,000	0
		旅費交通費	80,000	100,000	▲20,000
		印写事務費	700,000	700,000	0
		業務委託費	8,100,000	9,000,000	▲900,000
		渉外費	400,000	600,000	▲200,000
		消耗品費	300,000	500,000	▲200,000
		事務費	1,270,000	685,000	585,000
		小計	11,450,000	12,285,000	▲835,000
	備品費	什器備品費	100,000	300,000	▲200,000
		小計	100,000	300,000	▲200,000
	管理費計		11,550,000	12,585,000	▲1,035,000
予備費			201,000	500,000	▲299,000
合計			133,811,000	143,125,000	▲9,314,000

地区父母懇談会

今年も東北・北陸・関東・東海で6回開催

スタートは9月18日（土）新潟地区

「こんなに楽しい懇談会と知っていたら、子どもが1年の時から参加すればよかった」

10年目の節目を迎える地区父母懇談会。昨年から東北地区に盛岡市を加え、また、関東地区には3年次を対象とした就職懇談会も行われ、多くの父母が参加した。

地区父母懇談会は父母と大学の先生方が一同に会し、親しく懇談できる場として、参加者からは「大学の様子が少しでもわかり参加してよかった」「個別面談が大変よかった」などの声が毎年聞かれ、中には「子どもが1年生の時から参加していればよかった」との声も。内容は、教授による講演や父母と学科担当教員による個別面談。そして懇親会が開かれる。この他、就職指導や学生支援室の相談コーナーも設けられ、学生生活全般にわたる相談も受け付けてくれる。

特に個別面談では、子どもの成績表と個人別時間割を資料に行われるので、成績や学習態度など具体的な内容の話ができ、子どもからの情報以上に参考になったと話す人は多い。ぜひお近くの会場にご参加ください。

※詳細についてはご連絡いたします。

〈2004年度 地区父母懇談会日程〉

北陸地区父母懇談会
●9月18日（土）
会場　スターホテル新潟（新潟市）

東北地区父母懇談会A
●9月25日（日）
会場　ホテルエース盛岡（盛岡市）

東北地区父母懇談会B
●10月10日（日）
会場　福島ビューホテル（福島市）

関東地区就職懇談会
●10月23日（土）
※3年次父母対象（浦安市）
会場　明海大学浦安キャンパス

関東地区父母懇談会
●10月30日（土）
※2年次父母対象（浦安市）
会場　明海大学浦安キャンパス

東海地区父母懇談会
●11月20日（土）
会場　ホテルサンルート清水（静岡市）

「選ばれる大学づくり」

学長　髙倉　翔

宮田侑理事長は、2004年の年頭に当たり、明海大学の基本目標として、これまでの「魅力ある大学をめざして」と「豊かなキャンパスライフの構築」に加え、「選ばれる大学づくり」を掲げました。

現在、2003年度の合計特殊出生率が過去最低の1・29になるなど、少子化が進む一方で、大学数が増加しております。そのような状況のなかで、「2009年問題」（大学の収容力と志願者数が同じになる）が確実に予測されます。昨年来の進学率の低下から、「2009年」の前倒しもありうるでしょう。

これまで、大学は、入試を「選抜試験」とも呼び、大学が「学生を選ぶ」ことに疑問を感じませんでした。事態は一変し、学生（国民）が「大学を選ぶ」時代が到来しております。「選ばれる大学づくり」が大学の基本目標とされるのは必然的でございます。

事実、多くの大学が「選ばれる大学」を標榜しております。問題は、大学の「多様化・個性化」の潮流のなかで、「選ばれる大学」としての「個性化」が唱えられておりますが、その中身をみますと、《画一的個性化》とでもいえそうな状況にあります。わが明海大学における「選ばれる大学づくり」は、《独自の個性の輝き》を内実としております。

究極的にいえば、それは、教育の「方向性の明示」と「質の向上」のための具体的な施策の実行にあります。本学では、教育の面において「産学共同」と「国際連携」のネットワークを積極的に構築するなど、明確な「実学志向」へと舵を切りました。

大学改革は、ここ10年程の動向となっております。そのなかで、改革のテーマが「個性化・多様化」から「効率化・質の向上」へシフトされております。従いまして、本学《独自》の「選ばれる大学づくり」を、「個性化」の線上でのみ考えることは時代遅れです。その「個性化」を《「質の向上」を内実とする「効率化」》と同時平行的に実現することが課題といえます。

本学は、あくまでも経営の「安定」を前提に、「効率化・質の向上」を念頭に置き、《独自》の「選ばれる大学づくり」に《自信と確信》をもって邁進いたします。

教育後援会の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

30周年記念館探訪

▲2000年4月にオープンした30周年記念館

30周年記念館（図書館）は平成12年4月にオープンし、平成14年9月からは浦安市民にも開放され利用する人数は着実に増えている。今年の6月には1カ月で延べ25118人が利用。蔵書数は23万冊を超えカセットやビデオなどのAV資料も充実している。

2階の入口を入るとカード式のゲートがあり、カードを通すと入館できるシステムになっている。

2階は主にコンピュータールームになっていて、100台のコンピューターが設置されているが12時～17時までは空きがなく、5～6人が待つこともある。今年の6月には1カ月で利用者が延べ1万人を超えた。利用者が増えた理由として、コンピュータールームを担当する職員は「最近では宿題の提出方法がネットワークを使用することがあることと、今年度からコンピューターの授業が増え、従来ある講義棟のオープンルームでは足りなく、ここを利用するのでしょう」。9月には20台を増設する予定だがそれでも足りないと話す。

その他、情報処理の授業として昨年からコンピューターサロンが設けられ、担当の先生が学生の質問に答えアドバイスをしている。「サロンができる前は受付に聞きに来る学生がいましたが、サロンができたことによってすぐに解決できるようになり、よかったと思います」。

3階・4階は蔵書が並び、その横は閲覧のためのスペースになっている。6月の貸し出し数は、学生3174冊、教授316冊、その他82冊、浦安市民333冊、合計3905人。

5階にある会議室は主に教職員が会議をする目的に作られたが、現在ではゼミによる使用がほとんど。「慢性的に教室が足りない状態」と話す。

屋上は庭園になっており、ちょっとしたくつろぎ空間となっていて、高層マンションの合間からは東京湾を望むことができる。

▲屋上

▲屋上からの眺望

◀個室

1階は学生ホールと購買があり昼時には賑わいが増す。

今後の展望としては、本だけを充実させるのではなく、ネットを利用した「データベースの資料を充実させたい」と担当者は話す。朝日新聞や日経などのデータから、株価や経済指標、不動産関連の記事データや法令、判例といったものを、学内LANを使用して閲覧できるようにしたいと話してくれた。